

受け入れ先サービス事業所等を探す際の課題に関するアンケート調査報告書

☆本調査について

目 的：千葉市内の障害福祉サービス事業所等を探す際の課題を明らかにする

対 象：千葉市内の指定特定相談支援事業所 71 か所

回答方法：グーグルフォームへの記入

回答期間：2022年2月21日～2022年3月31日

回答事業所数：37事業所（回答率 約52%）

調査実施：千葉市障害者基幹相談支援センター

目次

【計画相談の対象者に関する質問】	P. 3
【ヘルパーに関する質問】	P. 4
【生活介護に関する質問】	P. 5～7
【短期入所に関する質問】		
うち障害者に関する事項	P. 8～10
うち障害児に関する事項	P. 11～13
【児童発達支援に関する質問】	P. 14～16
【放課後等デイサービスに関する質問】	P. 17～19
【就労系サービスに関する質問】	P. 20～21
【移動支援に関する質問】	P. 22
【日中一時支援に関する質問】	P. 23～24
【受け入れ先サービス事業所等を探す際の課題：自由記述】	P. 25～26

※質問項目後に○件の回答と書いてある場合は回答が任意項目となっており、その記載がないものは回答が必須項目となっています。

【計画相談の対象者に関する質問】

貴事業所の計画相談の対象者について該当するものを選択してください。

36 件の回答

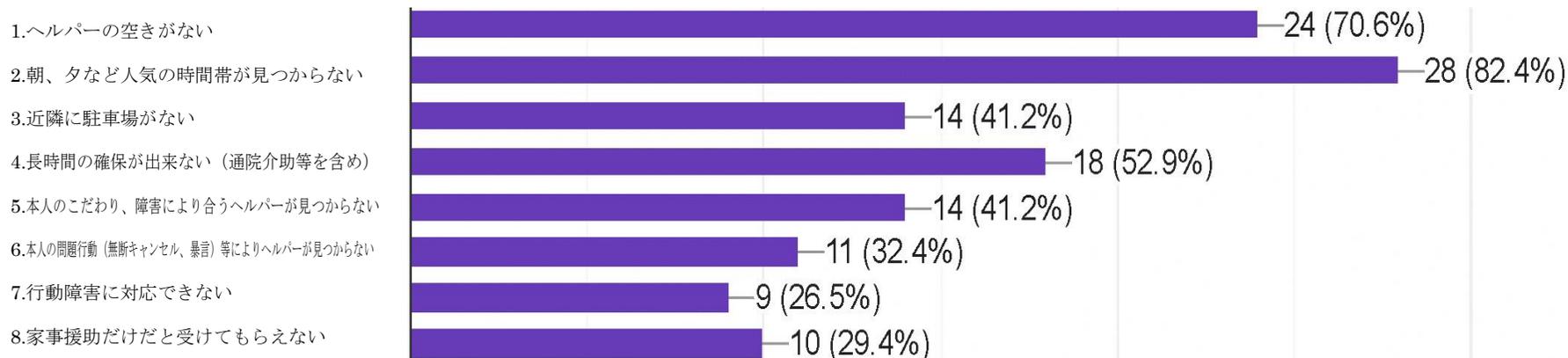


【考察】

割合を多く占める回答から順に「主に障害者」が 16 件(44.4%)、「障害者・障害児ともに多い」が 12 件(33.3%)、「主に障害児」が 5 件(13.9%)、その他は 1 件ずつとなっている。「主に障害者」、「障害者・障害児ともに多い」事業所の合計が 77.7%、「主に障害児」、「障害者・障害児ともに多い」事業所の合計が 67.2%となっているため、障害児の計画相談がより見つかりにくい可能性が考えられる。

【ヘルパーに関する質問】 Q1 ヘルパー事業所がなかなか見つからないケースについて教えてください。(複数回答可)

※ 移動支援については別途項目を設けています。 34 件の回答



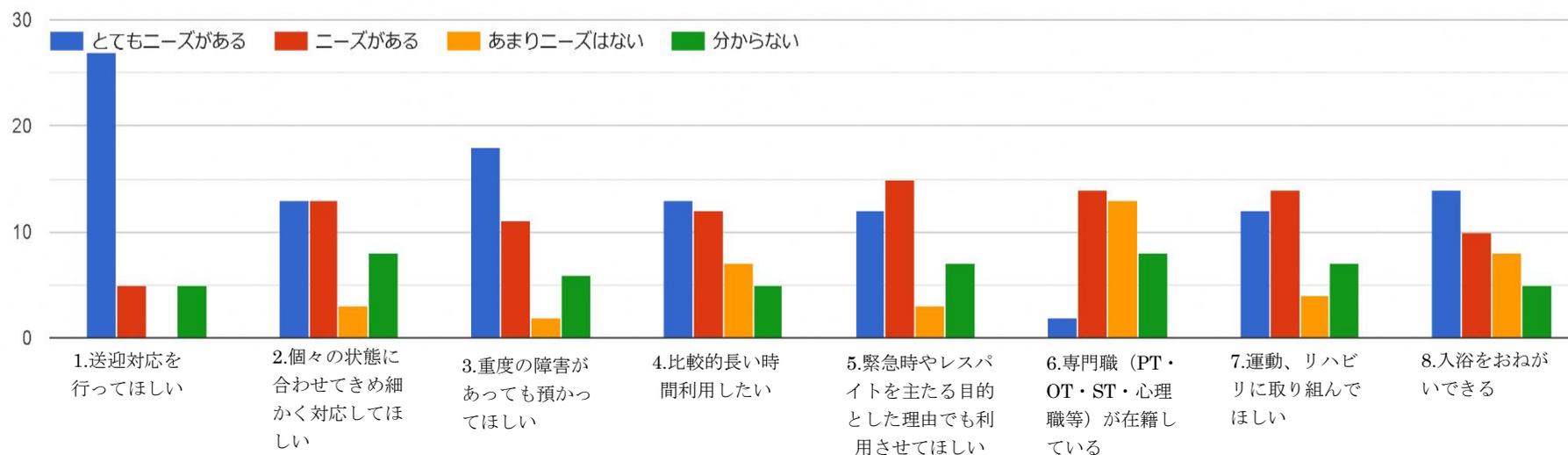
9. その他

- ・ 児童(身体障害)入浴介護
- ・ 短時間では受けてもらえない
- ・ 特定の時間、ヘルパーの性別や年代の要望などがあるとまず見つからない。しかし要望する本人は相談員がなまけているなど苦情を出すケース。
- ・ まだそのケースがありません
- ・ 利用者の要望が多すぎ
- ・ 計画的でない、サービスの組み立てがしにくい。
- ・ 男性ヘルパーを探すのが難しい。
- ・ 今のところ、上記の項目のようなケースは出ていません。
- ・ 精神障害だと断られることがある。(大変だから入れるヘルパーがいないと断られる。)、緑区のヘルパー事業所の数が少ない。特に土気エリア。ご本人が固定のヘルパーさんを希望した場合。ゴミ出しをお願いしたい場合。固定の時間だとみつきやすいが、イレギュラー(月に1~2回等)でのケアをお願いしたい場合にみつからない。
- ・ 生活援助のみの支援は見つかりにくい、身体が付かないと…と言われる。

【考察】

ヘルパーに関する質問では、回答を占める割合の大きい順から「朝、夕など人気の時間帯が見つからない」(82.4%)、「ヘルパーの空きがない」(70.6%)、「長時間の確保が出来ない」(52.9%)となっており、人気の時間帯以外にもヘルパーが見つかりにくい状況にあることが認められます。他にも「近隣に駐車場がない」(41.2%)、「家事援助だけだと受けてもらえない」(29.4%)という項目もヘルパーが見つかりにくい要因になっています。

【生活介護に関する質問】 Q2.生活介護におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



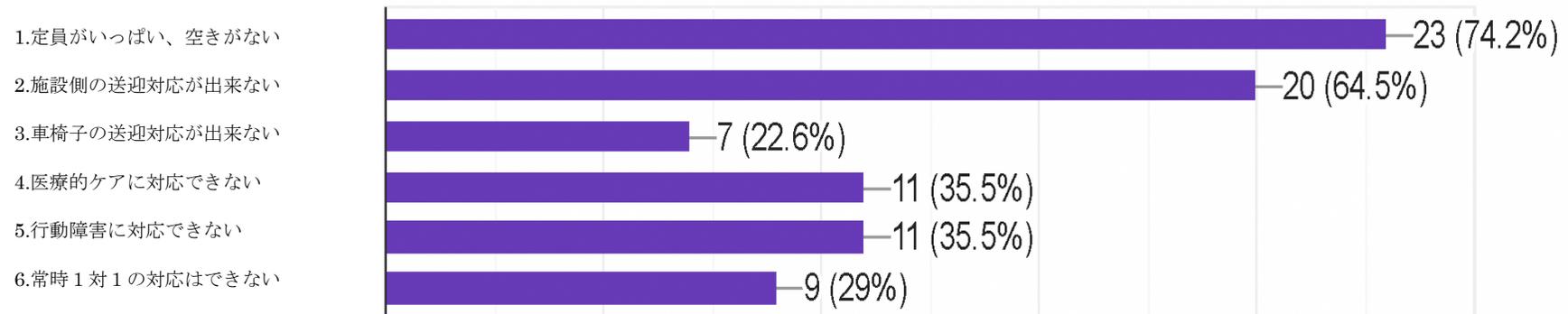
【考察】

生活介護に関する質問では、ニーズの多さの順からみると、「送迎対応を行ってほしい」、「重度の障害があっても預かってほしい」、「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」となっています。「比較的長い時間利用したい」、「緊急時やレスパイト目的の利用」もニーズが多いことが見受けられます。

【生活介護に関する質問】 Q3. Q2 で「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」という質問に関して、具体的にお願いたい対応がありましたら教えてください。 13 件の回答

- ・精神面で不安定な利用者のフォローや他利用者とのコミュニケーション支援
- ・ただ過ごすのではなく、次のステップに行けるような対応、作業をさせて欲しい
- ・面接等で聞き取りはするが、指示シート等明確に対応が記されているものがあると助かります。
- ・ご本人の能力に合った作業の提供。問題行動が発生した際の適切な対応。
- ・小刻みに休憩させてほしい。パニックの時落ち着ける部屋があると良い。
- ・動きが多い方に対してのマンツーマン対応。行動障害の方の対応。精神の方の対応。
- ・同性、異性に関わらず問題行動が起きてしまう方への対応（常時見守りが必要）
- ・この質問は難しいです。なぜなら「生活介護に通所するレベルの方」の定義がまずは必要だと思うからです。就労へは進みづらいレベルの方で、身辺自立できているレベルは障害の特性によって全く違います。また医療的ケアまでは必要ないけど服薬を施設に依頼するか否か？によっても対応が違います。生活介護に通う方で、きめ細かく対応してほしいと私達に来ているニーズの例は、「一緒に散歩してほしい(知的障害、家族と同居の方)」
「集団の中でルールなどみにつけたい（知的障害、GH 在住、行動援護取得、強度行動障害は付いてない）」
- ・発作時の座薬、介助方法など
- ・環境設定、設定具の用意等
- ・全体の中の一人というよりも、より本人を見て欲しい。
- ・きめ細かくまでではないが、それぞれの障害特性にあわせた支援を寄り添ってしてもらえるとたすかります。
- ・事業所での様子を細かく教えてほしいニーズ

【生活介護に関する質問】 Q4.生活介護での受け入れが難しい・出来ないと言われたケースについて教えてください。
(複数回答可) 31 件の回答



7. その他

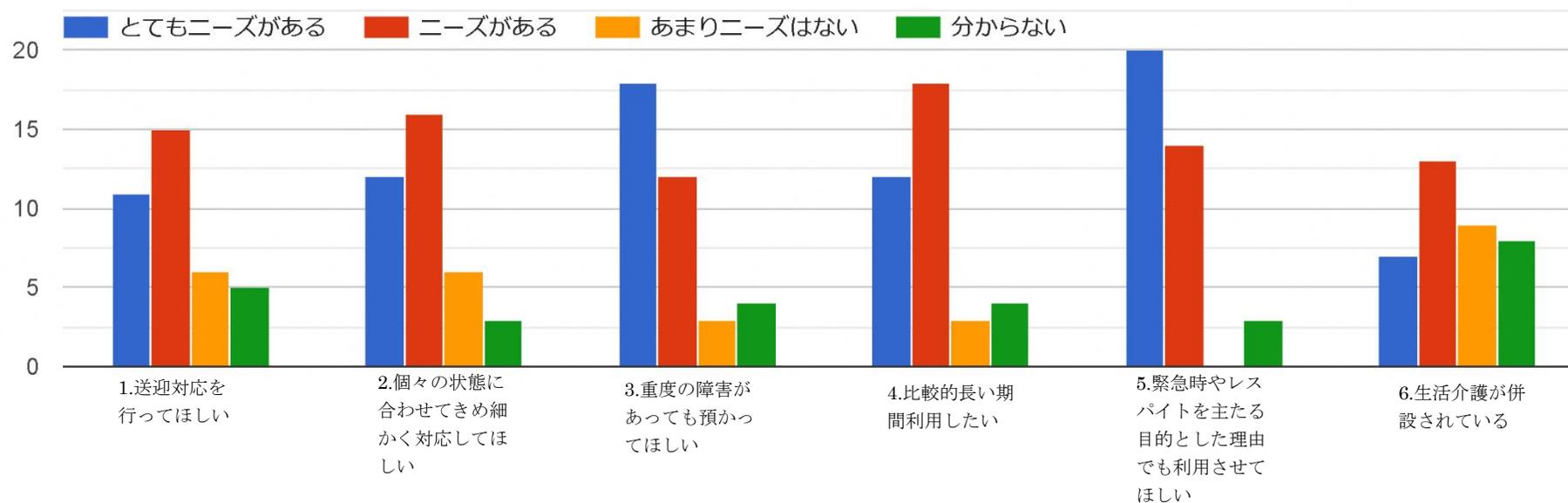
- ・ 重度心身障害者
- ・ コロナウィルスの影響で新規受け入れを行っていない
- ・ ケースによって異なりますがこれらの理由が複数重なって受け入れ先を探すのが難しい
- ・ 生活介護のケースにまだ携わっていません
- ・ コロナ禍で新規を取っていない
- ・ 特にありません
- ・ 精神障害の方などは時間通りの行動が難しく送迎車に乗車出来ない

【考察】

生活介護に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から「定員がいっぱい、空きがない」(74.2%)、「施設側の送迎対応が出来ない」(64.5%)となっています。続いて医療的ケアや行動障害等の障害の特性への対応が難しく受入れを断られたケースが認められます。

生活介護に関する調査結果によると、重度の障害がある方も含めて生活介護利用希望のニーズは多いものの、生活介護に空きは少ないこと、送迎利用も難しいため、利用に結びついていないことが考えられます。医療的ケア・行動障害など個別の事情による影響もあると考えられますがそれ以上に生活介護事業所が不足しているものと推測されます。

【短期入所に関する質問】 Q5.短期入所（障害者）におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



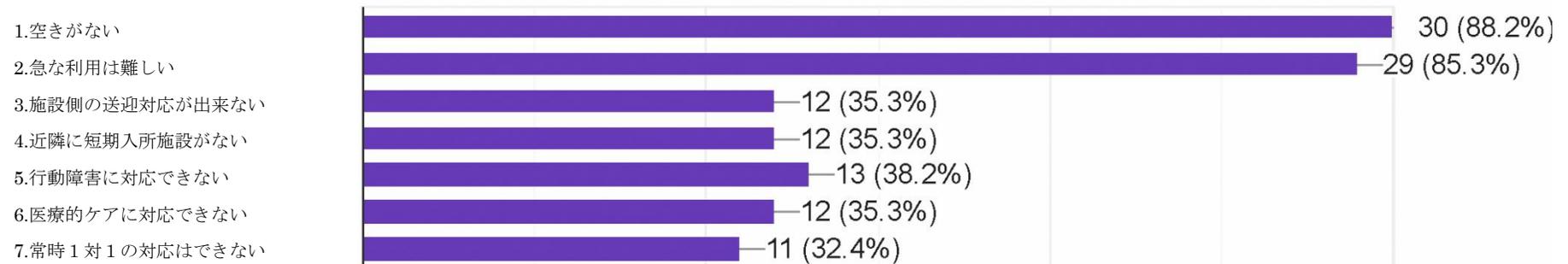
【考察】

短期入所に関する質問では、ニーズの多さからみると、「緊急時やレスパイトを主たる目的とした理由でも利用させてほしい」、「重度の障害があっても預かってほしい」、「比較的長い期間利用したい」の順となっています。また、「送迎対応を行ってほしい」、「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」というニーズも多いことが認められます。

【短期入所に関する質問】 Q6.Q5で「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」という質問に関して具体的にお願ひしたい対応がありましたら教えてください。 15 件の回答

- ・ 医療的ケアが必要又は糖尿病食やムース食などの対応
- ・ 医療的ケアに対応できる短期入所
- ・ 短期入所に空き自体がないので利用できない。
- ・ 知的障害の方の対応をしっかりと欲しいと意見がきます
- ・ 浣腸を2日おきにして欲しい
- ・ 衣類等持ち物の識別が出来ている。 指示シート、操作方法等対応が記されているものがあると助かります。
- ・ 身体介護が必要な方。食事、入浴、排泄などの支援。就寝時に寝付くまで見守り。
- ・ あまり目配りがないケースがある
- ・ 家以外の場所で過ごすことへの拒否やパニックに対応してほしい。
- ・ 個室対応がよい等の要望があった
- ・ てんかん発作時の対応。
- ・ 夜間外に出てしまう方への対応
- ・ 日常生活の習慣を一覧表にして持参し、「普段はこのようにしています。環境変わると、本人がパニックになるのでご認識願ひします」と話がありました。
- ・ 夜寝ない、暴れてしまう
- ・ 利用者さんの特性に合わせた対応を希望される方がおられます。

【短期入所に関する質問】 Q7.短期入所（障害者）の受け入れが難しい・出来ないと言われたケースについて教えてください。（複数回答可） 34 件の回答



8. その他

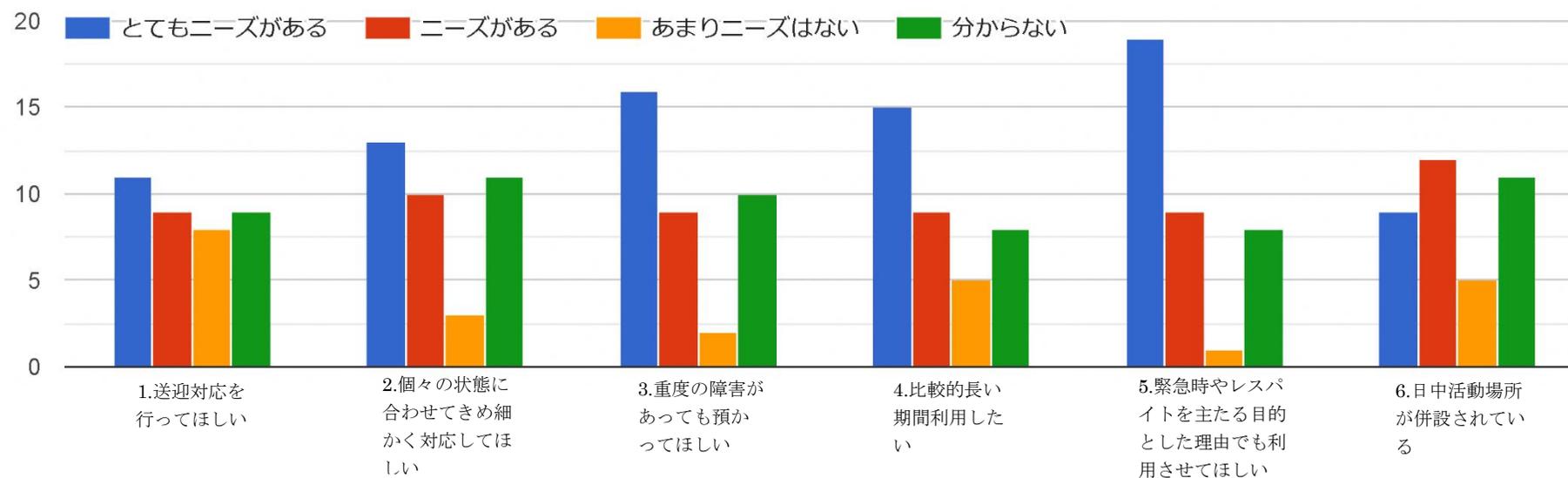
- ・感染症拡大防止のため外部の利用者の受け入れは難しい
- ・男性も女性も施設が少ないです
- ・見学、体験してからと言われ、緊急での利用が難しい
- ・コロナのウィルスの影響で受け入れを行っていない
- ・短期入所が予約で埋まってしまっていたり、事前予約の所が多いため空気がない
- ・コロナの状況で受け入れを制限している。
- ・現在はコロナ感染予防のため、同じ法人内の通所事業所を利用していないと受けられない等

【考察】

短期入所に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から「空気がない」（88.2%）、「急な利用は難しい」（85.3%）となっています。その他の項目は行動障害や医療的ケアへの対応が難しいことなどが認められます。

短期入所に関する質問をまとめると、緊急時やレスパイト目的での利用ニーズは大変高いものの、短期入所に空きはほぼなく、急な利用は難しいため、利用に結びつかないことが考えられます。

【短期入所（障害児）に関する質問】 Q8.短期入所（障害児）におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



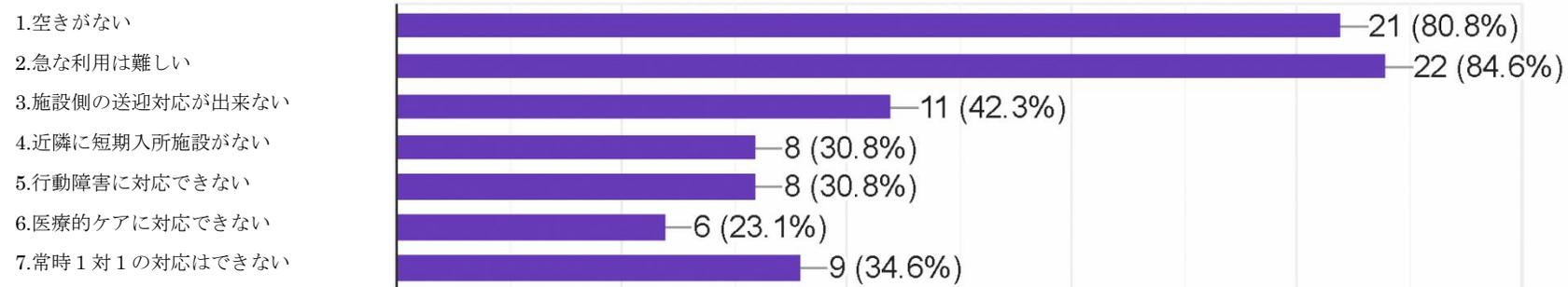
【考察】

短期入所（障害児）に関する質問では、ニーズの多さからみると、「緊急時やレスパイトを主たる目的とした理由でも利用させてほしい」、「重度の障害があっても預かってほしい」、「比較的長い期間利用したい」の順となっています。また、「送迎対応を行ってほしい」、「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」というニーズも多いことが認められます。障害者の短期入所と障害児の短期入所では求められるニーズがほぼ同じものとなっています。

【短期入所（障害児）に関する質問】 Q9.Q8で2.個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい、という質問で具体的にお願
したい対応がありましたら教えてください。 8件の回答

- ・服薬の回数分・個別にまとめて頂くと助かります。
- ・できるだけ家で行なっていることや生活場面でのやり方を尊重してほしい。
- ・1対1対応するような内容の要望がある
- ・短期入所先からの学校までの送迎。放デイ事業所から短期入所先への送迎。
- ・同性、異性に関わらず問題行動が起きてしまう方への対応（常時見守りが必要）
- ・トイレなどのこだわり
- ・特に医療的ケア児は家族の急な用事の時の受け入れ先に困っているまた兄弟が増えた時などの家族のレスパイトとしての利用希望も多いがなかなか見つからない
- ・送迎及び日中活動支援の希望が多いと把握している。また、入浴支援も期待を寄せていると思う。

【短期入所（障害児）に関する質問】 Q10.短期入所（障害児）の受け入れが難しい・出来ないと言われたケースについて教えてください。（複数回答可） 26 件の回答



8. その他

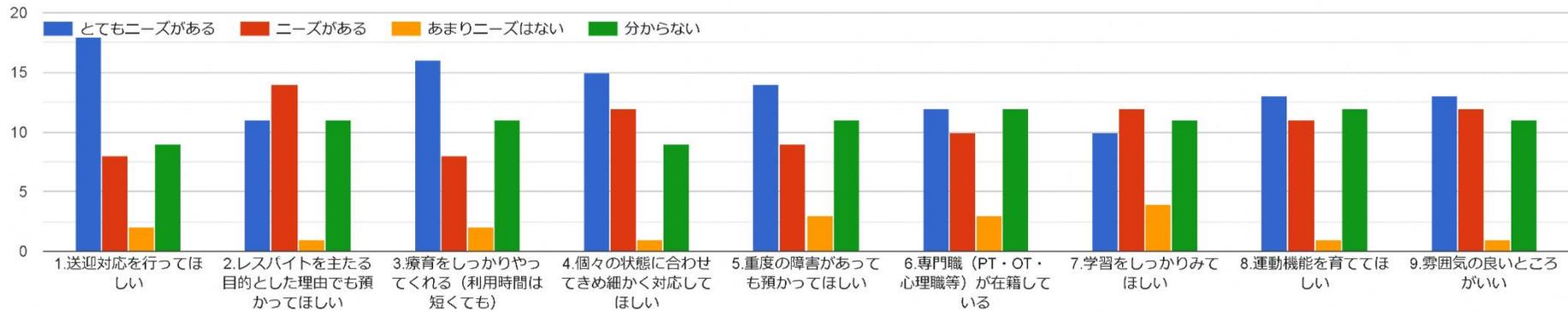
- ・ 児童相談所に対応してもらっている
- ・ 年齢制限あり。
- ・ 児童の短期入所先が実質1か所しかないため空きがない。
- ・ コロナウィルスの影響で受け入れを行っていない。そもそも児童が利用できる短期入所先がない（少なすぎる）
- ・ コロナ禍のため
- ・ コロナの状況で受け入れを制限している。
- ・ 千葉市内で児童の短期入所を行っている事業所が少ない。
- ・ 対応したことがなく回答できない。

【考察】

短期入所（児童）に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から、「急な利用は難しい」（84.6%）、「空きがない」（80.6%）、「施設側の送迎対応ができない」（42.3%）となっています。

短期入所に関する質問をまとめると、緊急時やレスパイト目的での利用ニーズは大変高いものの、短期入所に空きはほぼなく、急な利用は難しいため、利用に結びつかないことが考えられます。障害者の短期入所と障害児の短期入所では求められるニーズがほぼ同じであり、空きがなく急な利用が難しいという結果もほぼ同じものとなっています。

【児童発達支援に関する質問】 Q 1 1.児童発達支援におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



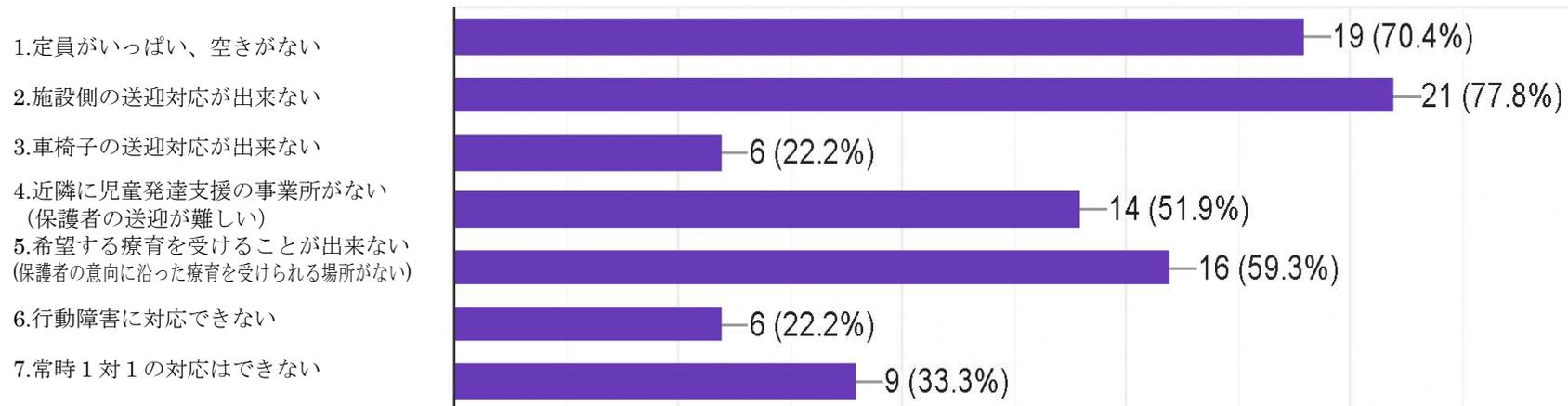
【考察】

児童発達支援に関する質問では、「とてもニーズがある」と回答した数で見ると、「送迎対応を行ってほしい」、「療育をしっかりやってくれる」、「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」の順となっています。また、「レスパイトを主たる目的とした理由でも預かってほしい」、「重度の障害があっても預かってほしい」というニーズも多いことが認められます。

【児童発達支援に関する質問】 Q1 2.Q1 1で「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」という質問に関して具体的にお願ひしたい対応がありましたら教えてください。 9件の回答

- ・個別指導増やして欲しい。
- ・課題は人それぞれ違いますので、今の成長度合いを見極めながら、ご要望に沿った支援を提供してほしい。
- ・Iteration 支援になってます
- ・常時マンツーマン対応か、療育時間内に個別療育をやってほしい。
- ・成長発達に応じた個別の対応をしてほしい。
- ・施設数が少なく要望に困る
- ・連絡を密にしてほしい。その日の様子を細かく伝えてほしい。
- ・集団と個別のどちらも利用したいが週に何回も通う事が難しい、1日で両方を経験していきたい等
- ・送迎及び長期預りの希望が多いと把握している。

【児童発達支援に関する質問】 Q 1 3.児童発達支援の受け入れ先を探すのが難しいケースについてその理由を教えてください。(複数回答可) 27 件の回答



8. その他

- ・ 保護者の事業所に対する期待が高いケースだと紹介をしても次々と断ってしまう
- ・ 集団療育の活動に合うか合わないか・・・。(内容等)
- ・ 専門職を配置している事業所が少ない。

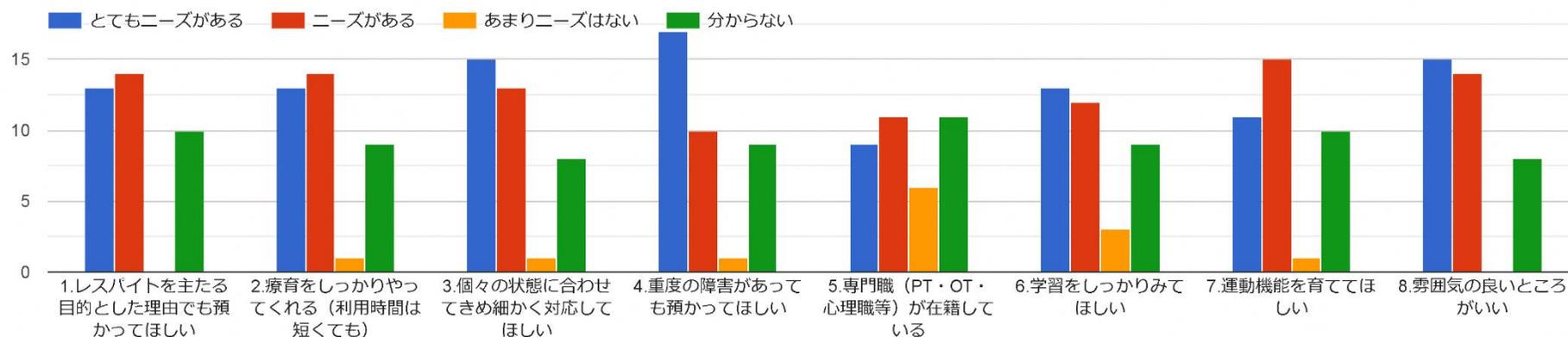
【考察】

児童発達支援に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から、「施設側の送迎対応が出来ない」(77.8%)、「定員がいっぱい、空きがない」(70.4%)、「希望する療育を受けることが出来ない」(59.3%)、「近隣に児童発達支援の事業所がない」(51.9%)となっています。

児童発達支援に関する質問をまとめると、送迎対応が出来ないこと、定員がいっぱいなことから利用に結びつかないことが考えられます。希望する療育が受けられないという項目は、送迎や定員の問題と療育への要望の高さによるものかは分からないため、より詳細な調査が望まれます。

また、近隣に児童発達支援の事業所がないという項目は児童発達支援事業所の分布に影響されるため地域差があることが推測されます。

【放課後等デイサービスに関する質問】 Q14.放課後等デイサービスにおけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



【考察】

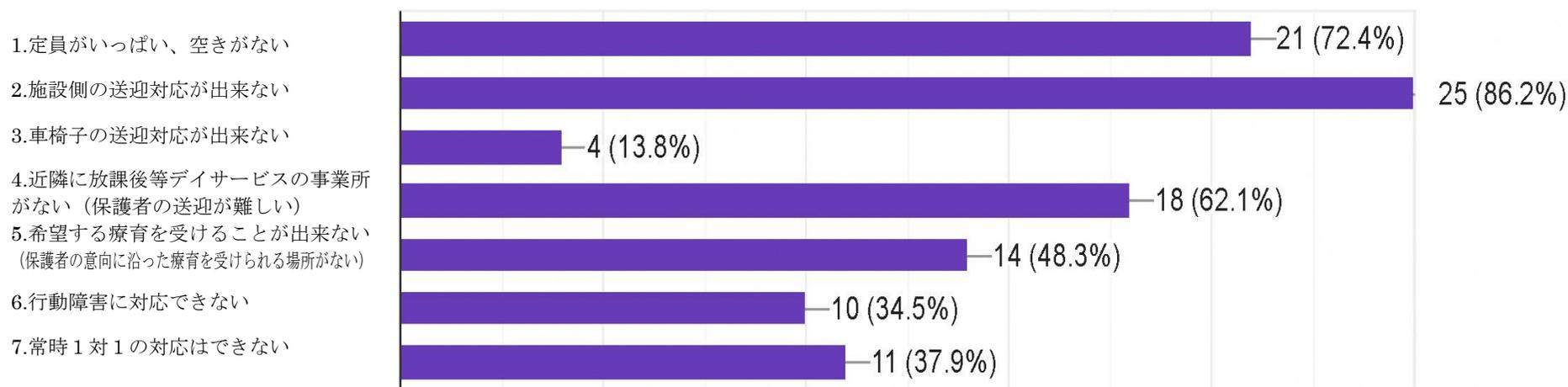
放課後等デイサービスに関する質問で、「とてもニーズがある」を選択した者が特に多かった項目は、「重度の障害があっても預かってほしい」、「雰囲気の良いところがいい」、「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」となっています。

また、他の項目でも全般的に「とてもニーズがある」「ニーズがある」を選択した者が多い結果となっています。

【放課後等デイサービスに関する質問】 Q15.Q14で「個々の状態に合わせてきめ細かく対応してほしい」という質問に関して
具体的にお願ひしたい対応がありましたら教えてください。 12件の回答

- ・指導員が一对一で見て欲しい。
- ・医的ケアを必要とする利用者が殆どの為、状況と情報(対処や機具の操作等) しっかりと提供して頂きたい。
- ・学習支援を希望される保護者様が多いです。
- ・一律の支援になっています
- ・その日にあったことや最近の様子などを送迎の際に伝えてほしい。
- ・保護者の細かい希望に沿った支援 (〇〇ができるようにしてほしい、に対し具体的に実践)
- ・学習の取り組みに対する希望が多い。(塾の代わりと思っている保護者もいる。役割が違うとは伝えますが…)
- ・何らかの形でトラブル (他害など) を起こしやすい利用者への対応
- ・特に、送迎のある所は預かり時間が短いためか、運動や言語等の個別対応がほとんどされず、療育プログラムが無いに等しいところもある。一人一人に沿ったプログラムを作成、実施して欲しい。
- ・濃厚接触等に関する情報を利用前に知らせて欲しい。判断が付きづらく、対応が難しい状況になってしまう事が有る。
- ・ソーシャルスキルで通所していても学習面でのサポートを希望されるケースが多く、特にグレーゾーンの利用者に関しては学習塾感覚で利用する家族もあり違いの理解促しに困る事もある
- ・送迎及び長期預りの希望が多いと把握している。

【放課後等デイサービスに関する質問】 Q16.放課後等デイサービスの受け入れ先を探すのが難しいケースについてその理由を教えてください。(複数回答可) 29 件の回答



8. その他

- ・ 保護者の事業所に対する期待が高いケースだと紹介をしても次々と断ってしまう
- ・ 集団療育の活動に合うか合わないか・・・。(内容等)
- ・ 専門職を配置している事業所が少ない。

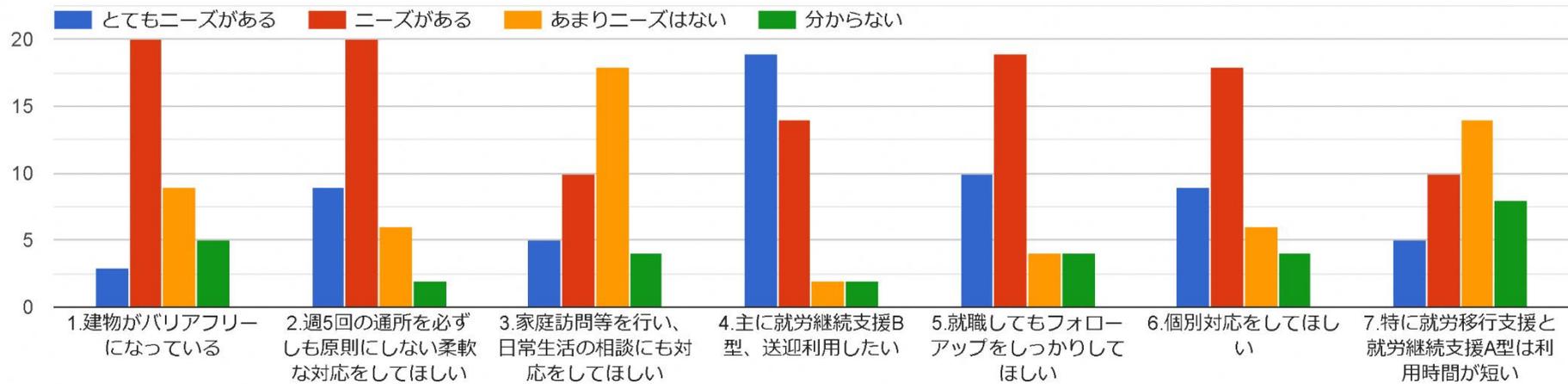
【考察】

放課後等デイサービスに関する質問では、回答を占める割合の大きい順から、「施設側の送迎対応が出来ない」(86.2%)、「定員がいっぱい、空きがない」(72.4%)、「近隣に放課後等デイサービスの事業所がない」(62.1%)、「希望する療育を受けることが出来ない」(48.3%)、となっています。

放課後等デイサービスに関する質問をまとめると、送迎対応が出来ないこと、定員がいっぱいなことから利用に結びつかないことが考えられます。また、近隣に放課後等デイサービスの事業所がないという項目は児童発達支援事業所の分布に影響されるため地域差があることが推測されます。希望する療育が受けられないという項目は、送迎や定員の問題と療育への要望の高さによるものかは分からないため、より詳細な調査が望まれます。

児童発達支援、放課後等デイサービスの調査結果はほぼ同じ傾向でした。施設側の送迎対応が求められていること、定員がいっぱいになっていることから利用に結びつかないことがあると考えられます。

【就労系サービスに関する質問】 Q17. 就労系サービス（就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、就労定着支援）におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



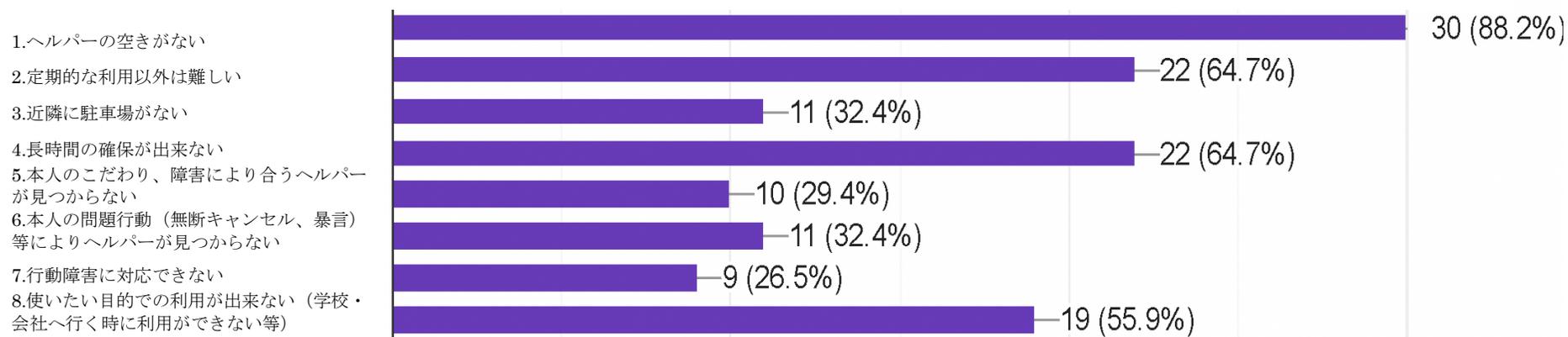
【考察】

就労系サービスに関する質問において、「とてもニーズがある」を選択した者が特に多かった項目は、「主に就労継続支援 B 型で送迎利用したい」となっており、「ニーズがある」を選択した者が特に多かった項目は、「建物がバリアフリーになっている」、「週 5 回の通所を必ずしも原則にしない柔軟な対応をしてほしい」、「就職してもフォローアップをしっかりとってほしい」、「個別対応をしてほしい」となっています。

【就労系サービスに関する質問】Q18.Q17で「個別に対応をしてほしい」という質問に関して、具体的にお願ひしたい対応がありましたら教えてください。 10件の回答

- ・学習面や就活にあたり個別指導しっかりやって欲しい。
- ・パニックに陥ったときの対応。同年代同性が苦手な方の対応。
- ・家庭訪問は望まないが、日常生活動作の困りごとを指導してほしい。
- ・就労系の短い時間が困ると要望有
- ・就労系の事業所でも送迎してほしい。
- ・就きたい職業によって訓練を個別で変えて欲しい。得意不得意でも個々で変えて欲しい。
- ・個別に相談にのってほしい。
- ・本人に合った作業をやらせてほしい。作業能力アップさせてほしい。
- ・持病で仕事の制限等がある場合等
- ・就労支援 b 型は「居場所」で利用している場合もあり決まった仕事内容以外にも障害の特性を生かした仕事も組み入れてほしい希望が聞かれる（絵が得意な障害者に対して作業以外に絵を描く時間を設けるなど）

【移動支援に関する質問】 Q19.移動支援での受け入れが難しい・出来ないと言われたケースについて教えてください。(複数回答可) 34 件の回答



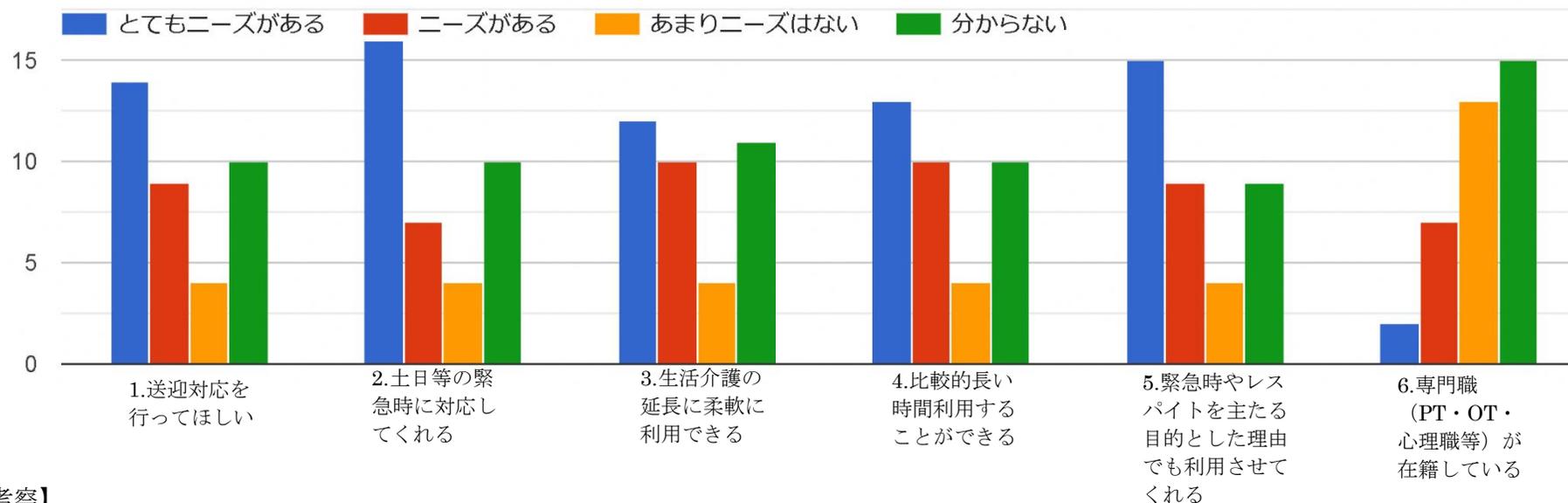
9. その他

- ・ 千葉市在住でも、千葉市以外の支給の方を受けてもらえない。車いすの方を受けてもらえない。
- ・ 身体障害だけの方は他の障害にくらべて利用するハードルが高い
- ・ 身体介護なしは、料金的に断られるケースが多い
- ・ 本人の特性に合わせたヘルパーさんを探すのは大変なこともある。

【考察】

移動支援に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から「ヘルパーの空きがない」(88.2%)、「定期的な利用以外は難しい」(64.7%)、「長時間の確保が出来ない」(64.7%)、「使いたい目的での利用が出来ない」(55.9%)となっています。「ヘルパーの空きがない」と回答した者の割合は約9割と高く、利用したくてもサービス利用に繋がらないケースも多々あることが想定されます。

【日中一時支援に関する質問】 Q20.日中一時におけるニーズについて、以下の選択肢から「利用者・保護者からのニーズ」について該当するものを選択してください。



【考察】

日中一時支援に関する質問において「とてもニーズがある」を選択した者の数は、「土日等の緊急時に対応してくれる」、「緊急時やレスパイトを主たる目的とした理由でも利用させてくれる」、「送迎対応を行ってほしい」、「比較的長い時間利用することができる」、「生活介護の延長に柔軟に利用できる」の順に多くなっています。

【日中一時支援に関する質問】 Q2 1.日中一時での受け入れが難しい・出来ないと言われたケースについて教えてください。(複数回答可) 25 件の回答



7. その他

- ・ コロナの状況で、受け入れが難しい。
- ・ 土、日に利用できる日中一時支援事業所が見つからない。
- ・ 週末に開所していないので受け入れが出来ない。

【考察】

日中一時支援に関する質問では、回答を占める割合の大きい順から「定員がいっぱい・空きがない」(88%)、「施設側の送迎対応ができない」(64%)、「近隣に日中一時支援の事業所がない」(48%)となっています。また、「行動障害に対応できない」、「常時1対1の対応はできない」と回答した割合も40%となっており、これらの障害特性を持つ方の場合、受け入れが難しくなることが予測される結果となっています。

日中一時支援に関する質問をまとめると、緊急時やレスパイト利用、土日利用のニーズがとて多くあるものの、空きがなく、送迎対応が難しいため、実際の利用には結びつかないことがあると考えられます。

Q2 2.受け入れ先サービス事業所等を探す際の課題でご意見等ございましたらご記入ください。

- ・自分で探すことが大変なので、ある程度探してほしい。
- ・ネットで探すしかない。口コミの良い事業所に問い合わせをしています。中々探すのに苦戦します。
- ・探すだけで非常に時間がかかり、他の業務が進まない。
- ・本人・保護者のニーズに合致した施設が少ない。
- ・空き等の細かい情報が事前にわかると助かる
- ・空き情報を出すことによるメリット・デメリットを把握して、相談員、事業所双方にとってプラスになるシステムがあるといいと思います。
- ・ヘルパー事業所を見つけることにとっても時間がかかる場合があります。緊急で利用をしなくてはならない場合等もあるため、ヘルパー事業所や短期入所、GH、通所先等の空き状況が確認できるものをつくって頂けるととても助かります。
- ・相談員ももちろん調整をしますが、限りがあります。ご利用者本人に合う、そういった心のある事業所を探すことは課題です。とはいえ、事業所の雰囲気はHPを見たり自分たちが実際に足を運ぶことでしか分からないが、HPではなかなか内部まで見ることは難しいので、ご利用者本人の合う事業所やまして心のある事業所を探すことなど難しいです。事業所の情報として形態やアクセスなどの基本情報に加えて、事業所からの言葉や声が載ったリストなどがあるとご利用者も含め探す側が探しやすくなると思います。
- ・施設入所を希望しているご家族が多いが利用できるサービス事業所が見つからない。
- ・今は、訪問系サービスの確保が一番の悩みです。
- ・居宅介護については圧倒的に足りない状況です。また、グループホームが増えましたが、問題ありのグループホームが多くなってきました。
- ・家事援助のみ、駐車場が無い、ということで断られるケースは多いです。
- ・同行援護の方で、婦人会や、木曜会など、同じ境遇での交流の場への参加を強く希望されますが、同日、長時間のサービスを受けてくださる事業所が無くて困っています。
- ・特に居宅事業所に多いが、サービス終了時の引継ぎがひどい。次の事業所も探さずにただ、「ヘルパーが退職してもう入れないので、今週いっぱい終了します」という事を言ってきて、あとは相談員が探せばよいと思っている無責任な事業所が本当に多い。
- ・自分たちの都合で終了するのであれば最後まで責任を持ち、次の事業所まで引き継いで終了しちゃうくらいの意識を持ってもらいたい。(グランドルールにしてもらいたい程です)
- ・日中一時の送迎要望がある
- ・日中系の事業所についても、何かトラブルを起こして利用の終了を告げるのならばただ切り捨てるのではなく、その後につながるような次の利用先

の候補の情報などをお渡ししてほしい。(その情報を使うかどうかはご利用者次第なので)

- ・身体障害者の利用者様に対してサービスが途切れたら大変なことになる！というプレッシャーがありますが、身体障害の利用者様で知的伴わない方に多いのが、支援者を口撃することです。支援者はやる気なくなってしまう。よって受け入れ先がなかなか決まらないケースがあります。
- ・児童期における家庭支援は、とても重要であると感じています。ご本人の支援だけではなく、家庭支援や地域移行を見据えた支援・連携等を大事にできる事業所が増えてほしい。
- ・児童の場合保護者のニーズに振り回されるが、苦労は伝わらない(見つからないと不満をぶつけられる。)
- ・ご本人やご家族にニーズ・課題が必ずしも全部が福祉サービスに当てはまるものではないので、福祉サービス以外のサービスを見つけていく・作っていく必要があると感じる。
- ・行動障害が強い方の受け入れ先は、全サービスを通して探すのが困難である。そういった方々が地域で暮らしていけるための支援体制・整備が必要であると感じる。
- ・児童発達支援や放課後等デイサービスの延長で日中一時支援事業所が増えると良い
- ・困った時に、適宜対応できる事業所を求めていると把握している。

【考察】

本設問に対して自由記述を求めています。複数の意見から、ヘルパー事業所、通所先などが不足しており、相談支援事業所が利用者のニーズに合った事業所を探してもなかなか見つからずに苦労している状況が伺えます。このため、事業所の空き状況や雰囲気などの細かい情報提供を求める意見や、不足するニーズを充足するための社会資源の開拓や、支援体制の整備が必要であるとの意見が挙がっています。